

平成 2 0 年度

三豊市一般会計・特別会計歳入歳出
決算及び基金運用状況審査意見書

三豊市監査委員

三 監 第 70 号
平成 21 年 8 月 20 日

三 豊 市 長 横 山 忠 始 様

三 豊 市 監 査 委 員 糸 川 昇

三 豊 市 監 査 委 員 金 丸 勉

平成 20 年度三豊市一般会計・特別会計歳入歳出
決算及び基金運用状況審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項及び同法第 241 条第 5 項の規定により、審査に
付された平成 20 年度三豊市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び附属書類並び
に基金運用状況を審査した結果、次のとおり意見を提出する。

目 次

第1	審 査 の 対 象	1
第2	審 査 の 期 間	1
第3	審 査 の 方 法	1
第4	審 査 の 結 果	1
第5	審 査 の 概 要	
1	総 括	2
2	一 般 会 計	5
3	地域農産物利用促進センター事業特別会計	7
4	国民健康保険事業特別会計	8
5	国民健康保険診療所事業特別会計	10
6	老人保健事業特別会計	11
7	後期高齢者医療事業特別会計	12
8	介護保険事業特別会計	13
9	介護サービス事業特別会計	15
10	集落排水事業特別会計	16
11	浄化槽整備推進事業特別会計	17
12	港湾整備事業特別会計	19
13	土地造成事業特別会計	20
第6	市 債 の 状 況	21
第7	財 産 の 状 況	22
第8	基 金 運 用 状 況	24
第9	ま と め	27

決算審査資料

款別歳入一覧表

一般会計	28
地域農産物利用促進センター事業特別会計	29
国民健康保険事業特別会計	29
国民健康保険診療所事業特別会計	30
老人保健事業特別会計	30
後期高齢者医療事業特別会計	31
介護保険事業特別会計	31
介護サービス事業特別会計	32
集落排水事業特別会計	32
浄化槽整備推進事業特別会計	33
港湾整備事業特別会計	33
土地造成事業特別会計	33

款別歳出一覧表

一般会計	34
地域農産物利用促進センター事業特別会計	35
国民健康保険事業特別会計	35
国民健康保険診療所事業特別会計	36
老人保健事業特別会計	36
後期高齢者医療事業特別会計	37
介護保険事業特別会計	37
介護サービス事業特別会計	38
集落排水事業特別会計	38
浄化槽整備推進事業特別会計	39
港湾整備事業特別会計	39
土地造成事業特別会計	39

凡 例

- 1 本書に用いる千円単位の数値は、単位未満を四捨五入、また比率は、小数点以下第2位を四捨五入とした。
従って、合計と内訳の計、差引等が一致しない場合がある。
- 2 符号の用法は次のとおりである。
「0.0」・・・該当数値はあるが、単位未満のもの
「-」・・・該当数値がないもの

平成 20 年度三豊市一般会計・特別会計 歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見

第 1 審査の対象

1 一般会計・特別会計決算

- 平成 20 年度 三豊市一般会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市地域農産物利用促進センター事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市老人保健事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 20 年度 三豊市土地造成事業特別会計歳入歳出決算

2 付属書類

- 平成 20 年度 三豊市各会計別歳入歳出決算事項別明細書
- 平成 20 年度 三豊市各会計別実質収支に関する調書
- 平成 20 年度 三豊市財産に関する調書

第 2 審査の期間

平成 21 年 7 月 8 日から平成 21 年 8 月 14 日まで

第 3 審査の方法

この審査にあたっては、審査に付された一般会計・特別会計歳入歳出決算書及び付属書類並びに基金運用状況報告書について、関係法令に準拠して作成されているか、関係諸帳簿及び証拠書類との照合調査を行い、また、関係各課から必要に応じて資料の提出を求め、関係職員の説明を聴取し、処理の適法性、計数の正確性、予算執行状況の適正性に主眼をおいて審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書および実質収支に関する調書並びに財産に関する調書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数についても関係帳簿及び関係証拠書類と符号していることを認めた。

また、各基金はそれぞれの目的に沿って運用されており、決算における計数は正確でその執行は適正と認めた。

第5 審査の概要

1 総括

(1) 決算規模

一般会計及び各特別会計の決算総額(会計間の繰出、繰入の状況についての純計操作を行わない単純合算額を掲げた。)は、次のとおりである。

決 算 総 額 表

(単位：円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額	29,822,568,000	18,864,608,000	48,687,176,000
決 算 額	歳 入	17,963,991,465	45,187,765,650
	歳 出	17,428,038,956	43,748,283,953
	歳入歳出差引額	535,952,509	1,439,481,697

各会計の決算状況は、次のとおりである。

各 会 計 決 算 表

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	歳入決算額 A	歳出決算額 B	収支差引額 (A-B) C	
一 般 会 計	29,822,568,000	27,223,774,185	26,320,244,997	903,529,188	
特 別 会 計	地域農産物利用促進センター事業	44,664,000	42,889,766	42,889,766	0
	国民健康保険事業	8,781,717,000	7,876,880,624	7,851,935,624	24,945,000
	国民健康保険診療所事業	173,332,000	176,408,688	167,394,859	9,013,829
	老人保健事業	971,408,000	969,900,125	957,222,726	12,677,399
	後期高齢者医療事業	1,604,345,000	1,589,765,503	1,587,976,689	1,788,814
	介護保険事業	5,736,840,000	5,764,786,991	5,550,326,627	214,460,364
	介護サービス事業	87,095,000	86,515,127	80,510,753	6,004,374
	集落排水事業	200,400,000	193,282,336	193,282,336	0
	浄化槽整備推進事業	205,836,000	204,833,870	204,833,870	0
	港湾整備事業	44,554,000	44,191,083	38,490,668	5,700,415
	土地造成事業	1,014,417,000	1,014,537,352	753,175,038	261,362,314
	小 計	18,864,608,000	17,963,991,465	17,428,038,956	535,952,509
合 計	48,687,176,000	45,187,765,650	43,748,283,953	1,439,481,697	

(2) 決算収支

決算収支状況は、次のとおりである。

決算収支状況表

(単位：円)

区 分 \ 年 度	20年度
歳 入 決 算 額 A	45,187,765,650
歳 出 決 算 額 B	43,748,283,953
歳入歳出差引額 (A-B) C	1,439,481,697
翌年度へ繰り越すべき財源 D	496,141,000
実 質 収 支 額(C-D) E	943,340,697

総計決算における歳入歳出差引(形式収支)額は、1,439,481,697 円の黒字決算となっている。

実質収支額は、943,340,697 円の黒字となっている。

実質収支額の内訳は、一般会計で 407,388,188 円、特別会計で 535,952,509 円である。

(3) 予算の執行状況

予算執行状況を予算額と決算額の割合でとらえると、次のとおりである。

予算執行状況表

(単位：円・%)

区分 \ 年度	予算現額	歳入決算額	収入率 (対予算現額)	歳出決算額	執行率 (対予算現額)
20年度	48,687,176,000	45,187,765,650	92.8	43,748,283,953	89.9

歳入決算状況は、予算現額 48,687,176,000 円、調定額 46,092,054,878 円、不納欠損額 60,421,023 円、収入未済額 843,868,205 円となっている。

収入済額 45,187,765,650 円の予算額に対する収入率は 92.8%、調定額に対する収入率は 98.0%となっている。

歳入決算の状況は、次のとおりである。

歳 入 決 算 状 況 表

(単位：円)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠 損 額	収入未済額
20年度	48,687,176,000	46,092,054,878	45,187,765,650	60,421,023	843,868,205

歳出決算状況は、予算現額 48,687,176,000 円に対し、支出済額 43,748,283,953 円
翌年度繰越額は 2,938,844,500 円、不用額 2,000,047,547 円の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 89.9%の執行率である。

歳出決算の状況は、次のとおりである。

歳 出 決 算 状 況 表

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
20年度	48,687,176,000	43,748,283,953	2,938,844,500	2,000,047,547	89.9

2 一般会計

(1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 29,822,568,000 円、調定額 27,752,834,185 円、不納欠損額 32,541,491 円、収入未済額 496,518,509 円となっている。

収入済額 27,223,774,185 円（前年度 27,555,996,258 円）の予算現額に対する収入率は 91.3%（前年度 99.8%）、調定額に対す収入率は 98.1%（前年度 98.3%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 市 税	7,805,522,434	8,051,262,550	△245,740,116	28.7	29.2
2 地 方 譲 与 税	389,446,889	407,667,556	△18,220,667	1.4	1.5
3 利 子 割 交 付 金	50,812,000	50,850,000	△38,000	0.2	0.2
4 配 当 割 交 付 金	18,227,000	45,113,000	△26,886,000	0.1	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	6,840,000	26,190,000	△19,350,000	0.0	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	615,301,000	671,133,000	△55,832,000	2.3	2.4
7 ゴルフ場利用税交付金	64,021,405	63,670,110	351,295	0.2	0.2
8 自動車取得税交付金	187,835,000	197,389,000	△9,554,000	0.7	0.7
9 地方特例交付金	96,690,000	55,241,000	41,449,000	0.4	0.2
10 地 方 交 付 税	10,196,937,000	9,564,345,000	632,592,000	37.5	34.7
11 交通安全対策特別交付金	14,251,000	15,845,000	△1,594,000	0.1	0.1
12 分担金及び負担金	275,783,260	277,155,766	△1,372,506	1.0	1.0
13 使用料及び手数料	539,977,819	550,259,307	△10,281,488	2.0	2.0
14 国 庫 支 出 金	1,238,374,559	1,736,579,767	△498,205,208	4.5	6.3
15 県 支 出 金	1,271,020,942	1,633,470,755	△362,449,813	4.7	5.9
16 財 産 収 入	111,050,183	87,028,226	24,021,957	0.4	0.3
17 寄 附 金	161,757,326	21,113,380	140,643,946	0.6	0.1
18 繰 入 金	454,255,551	147,392,351	306,863,200	1.7	0.5
19 繰 越 金	1,085,329,922	1,126,159,795	△40,829,873	4.0	4.1
20 諸 収 入	716,740,895	815,630,695	△98,889,800	2.6	3.0
21 市 債	1,923,600,000	2,012,500,000	△88,900,000	7.1	7.3
歳 入 合 計	27,223,774,185	27,555,996,258	△332,222,073	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 29,822,568,000 円に対し、支出済額 26,320,244,997 円（前年度 26,470,666,336 円）、翌年度繰越額 2,930,119,000 円（前年度 658,366,000 円）不用額 572,204,003 円（前年度 483,189,964 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 88.3%（前年度 95.9%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 150,421,339 円（0.6%）減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 議 会 費	288,635,387	291,765,419	△3,130,032	1.1	1.1
2 総 務 費	4,642,891,554	4,523,150,385	119,741,169	17.6	17.1
3 民 生 費	6,837,216,715	6,663,046,574	174,170,141	26.0	25.2
4 衛 生 費	2,391,075,279	2,527,477,780	△136,402,501	9.1	9.5
5 労 働 費	21,044,596	26,833,985	△5,789,389	0.1	0.1
6 農林水産業費	1,563,159,892	1,322,061,403	241,098,489	5.9	5.0
7 商 工 費	178,066,890	182,881,190	△4,814,300	0.7	0.7
8 土 木 費	1,688,654,519	1,572,115,009	116,539,510	6.4	5.9
9 消 防 費	1,099,099,910	1,116,776,234	△17,676,324	4.2	4.2
10 教 育 費	3,911,168,169	4,743,710,677	△832,542,508	14.9	17.9
11 災 害 復 旧 費	0	4,668,898	△4,668,898	0.0	0.0
12 公 債 費	3,693,102,086	3,490,048,782	203,053,304	14.0	13.2
13 諸 支 出 金	6,130,000	6,130,000	0	0.0	0.0
14 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	26,320,244,997	26,470,666,336	△150,421,339	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

一般会計の決算収支については、歳入総額 27,223,774,185 円、歳出総額は、26,320,244,997 円で、歳入歳出差引額は 903,529,188 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 496,141,000 円であるので、実質収支額は 407,388,188 円の黒字決算となっている

3 地域農産物利用促進センター事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 44,664,000 円、調定額 42,939,446 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 49,680 円となっている。

収入済額 42,889,766 円(前年度 41,253,136 円)の予算現額に対する収入率は 96.0% (前年度 96.6%)、調定額に対する収入率は 99.9% (前年度 99.9%) となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	繰 入 金	1,573,656	843,454	730,202	3.7	2.0
2	繰 越 金	0	0	0	0.0	0.0
3	諸 収 入	41,316,110	40,409,682	906,428	96.3	98.0
	歳 入 合 計	42,889,766	41,253,136	1,636,630	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出の状況は、予算現額 44,664,000 円に対し、支出済額 42,889,766 円(前年度 41,253,136 円)、翌年度繰越額 0 円(前年度 0 円)、不用額 1,774,234 円(前年度 1,446,864 円)の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 96.0% (前年度 96.6%) の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 1,636,630 円(4.0%)増加している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	総 務 費	23,989,950	21,754,531	2,235,419	56.0	52.7
2	一 般 給 食 費	18,899,816	19,498,605	△598,789	44.0	47.3
3	予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
	歳 出 合 計	42,889,766	41,253,136	1,636,630	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

地域農産物利用促進センター事業特別会計の決算収支については、歳入総額 42,889,766 円、歳出総額は 42,889,766 円で、歳入歳出差引額は 0 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 0 円となっている。

4 国民健康保険事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 8,781,717,000 円、調定額 8,228,443,205 円、不納欠損額 23,919,932 円、収入未済額 327,642,649 円となっている。

収入済額 7,876,880,624 円（前年度 8,487,721,814 円）の予算現額に対する収入率は 89.7%（前年度 98.0%）、調定額に対する収入率は 95.7%（前年度 96.2%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 国民健康保険税	1,652,109,877	2,246,890,000	△594,780,123	21.0	26.5
2 一 部 負 担 金	0	0	0	0.0	0.0
3 使用料及び手数料	525,810	588,830	△63,020	0.0	0.0
4 国 庫 支 出 金	1,772,080,358	1,942,533,588	△170,453,230	22.5	22.9
5 県 支 出 金	314,490,284	302,231,500	12,258,784	4.0	3.6
6 療養給付費等交付金	585,237,964	1,897,435,591	△1,312,197,627	7.4	22.4
7 前期高齢者交付金	1,796,061,809	—	1,796,061,809	22.8	—
8 共同事業交付金	899,469,294	815,138,326	84,330,968	11.4	9.6
9 財 産 収 入	5,097,471	3,932,687	1,164,784	0.1	0.0
11 繰 入 金	429,798,154	664,864,632	△235,066,478	5.5	7.8
12 繰 越 金	384,742,440	589,626,124	△204,883,684	4.9	6.9
13 諸 収 入	37,267,163	24,480,536	12,786,627	0.5	0.3
歳 入 合 計	7,876,880,624	8,487,721,814	△610,841,190	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、予算現額 8,781,717,000 円に対し、支出済額 7,851,935,624 円（前年度 8,102,979,374 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 929,781,376 円（前年度 554,880,626 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 89.4%（前年度 93.6%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 251,043,750 円（3.1%）減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区分 \ 年度	平成 20 度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 総 務 費	88,030,780	122,570,766	△34,539,986	1.1	1.5
2 保 険 給 付 費	5,107,839,467	5,130,653,032	△22,813,565	65.1	63.3
3 後期高齢者支援金等	771,637,260	—	771,637,260	9.8	—
4 前期高齢者納付金等	1,039,012	—	1,039,012	0.0	—
5 老人保健拠出金	215,807,285	1,283,123,145	△1,067,315,860	2.7	15.8
6 介 護 納 付 金	334,738,940	366,684,995	△31,946,055	4.3	4.5
7 共 同 事 業 拠 出 金	968,233,559	831,306,521	136,927,038	12.3	10.3
8 保 険 事 業 費	86,833,619	37,349,286	49,484,333	1.1	0.5
9 基 金 積 立 金	255,097,471	299,999,687	△44,902,216	3.2	3.7
10 公 債 費	0	0	0	0.0	0.0
11 諸 支 出 金	22,678,231	31,291,942	△8,613,711	0.3	0.4
12 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	7,851,935,624	8,102,979,374	△251,043,750	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

国民健康保険事業特別会計の決算収支については、歳入総額 7,876,880,624 円、歳出総額 7,851,935,624 円で歳入歳出差引額は 24,945,000 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 24,945,000 円の黒字決算となっている。

5 国民健康保険診療所事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 173,332,000 円、調定額 176,408,688 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 0 円となっている。

収入済額 176,408,688 円（前年度 193,280,284 円）の予算現額に対する収入率は 101.8%（前年度 101.0%）、調定額に対する収入率 100.0%（前年度 100.0%）となっている。

なお、科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1 診 療 収 入		139,191,021	148,274,257	△9,083,236	79.0	76.7
2 使用料及び手数料		836,760	581,555	255,205	0.5	0.3
3 財 産 収 入		818,040	829,592	△11,552	0.5	0.4
4 繰 入 金		15,405,925	14,974,850	431,075	8.7	7.7
5 繰 越 金		19,559,977	27,925,224	△8,365,247	11.1	14.4
6 諸 収 入		596,965	694,806	△97,841	0.3	0.4
歳 入 合 計		176,408,688	193,280,284	△16,871,596	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出の決算状況は、予算現額 173,332,000 円に対し、支出済額 167,394,859 円（前年度 173,720,307 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 5,937,141 円（前年度 17,642,693 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 96.6%（前年度 90.8%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 6,325,448 円（3.6%）減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1 総 務 費		65,713,529	66,334,221	△620,692	39.3	38.2
2 医 業 費		76,131,040	74,324,244	1,806,796	45.5	42.8
3 基金積立金		7,318,040	14,829,592	△7,511,552	4.4	8.5
4 公 債 費		18,232,250	18,232,250	0	10.9	10.5
5 予 備 費		0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計		167,394,859	173,720,307	△6,325,448	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

国民健康保険診療所事業特別会計の決算収支については、歳入総額 176,408,688 円、歳出総額は、167,394,859 円で、歳入歳出差引額は 9,013,829 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 9,013,829 円の黒字決算となっている。

6 老人保健事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 971,408,000 円、調定額 975,907,325 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 6,007,200 円となっている。

収入済額 969,900,125 円（前年度 9,289,559,661 円）の予算現額に対する収入率は 99.8%（前年度 97.8%）、調定額に対する収入率は 99.4%（前年度 99.9%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区分	年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	支払基金交付金	463,968,669	4,819,842,000	△4,355,873,331	47.8	51.9
2	国庫支出金	344,735,763	2,953,169,981	△2,608,434,218	35.5	31.8
3	県支出金	64,297,732	745,814,761	△681,517,029	6.6	8.0
4	繰入金	64,070,734	742,270,032	△678,199,298	6.6	8.0
5	繰越金	0	0	0	0	0.0
6	諸収入	32,827,227	28,462,887	4,364,340	3.4	0.3
	歳入合計	969,900,125	9,289,559,661	△8,319,659,536	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 971,408,000 円に対し、支出済額 957,222,726 円（前年度 9,405,060,804 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 14,185,274 円（前年度 98,136,196 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 98.5%（前年度 99.0%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 8,447,838,078 円（89.8%）減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区分	年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	医療諸費	838,813,666	9,336,929,192	△8,498,115,526	87.6	99.3
2	公債費	0	0	0	0.0	0.0
3	諸支出金	2,907,917	68,131,612	△65,223,695	0.3	0.7
4	前年度繰上充用金	115,501,143	—	115,501,143	12.1	—
5	予備費	0	0	0	0.0	0.0
	歳出合計	957,222,726	9,405,060,804	△8,447,838,078	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

老人保健事業特別会計の決算収支については、歳入総額 969,900,125 円、歳出総額は 957,222,726 円で、歳入歳出差引額は 12,677,399 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 12,677,399 円の黒字決算となっている。

7 後期高齢者医療事業特別会計

(4) 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 1,604,345,000 円、調定額 1,594,467,003 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 4,701,500 円となっている。

収入済額 1,589,765,503 円の予算現額に対する収入率は 99.1%、調定額に対する収入率は 99.7%となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	後期高齢者医療保険料	622,980,400	—	622,980,400	39.2	—
2	使用料及び手数料	44,900	—	44,900	0.0	—
3	国庫支出金	0	—	0	0.0	—
5	繰 入 金	965,979,589	—	965,979,589	60.8	—
7	諸 収 入	760,614	—	760,614	0.0	—
	歳 入 合 計	1,589,765,503	—	1,589,765,503	100.0	—

(5) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 1,604,345,000 円に対し、支出済額 1,587,976,689 円、翌年度繰越額 0 円、不用額 7,642,811 円の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 99.0%の執行率である。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	総 務 費	48,123,972	—	48,123,972	3.0	—
2	広域連合納付金	1,539,852,717	—	1,539,852,717	97.0	—
3	公 債 費	0	—	0	0.0	—
5	予 備 費	0	—	0	0.0	—
	歳 出 合 計	1,587,976,689	—	1,587,976,689	100.0	—

(6) 実質収支に関する調書

後期高齢者医療事業特別会計の決算収支については、歳入総額 1,589,765,503 円、歳出総額は 1,587,976,689 円で、歳入歳出差引額は 1,788,814 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 1,788,814 円の黒字決算となっている。

8 介護保険事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入の決算状況は、予算現額 5,736,840,000 円、調定額 5,776,520,891 円、不納欠損額 3,959,600 円、収入未済額 7,774,300 円となっている。

収入済額 5,764,786,991 円（前年度 5,531,032,308 円）の予算現額に対する収入率は、100.5%（前年度 99.1%）、調定額に対する収入率 99.8%（前年度 99.8%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 保 険 料	905,047,100	900,364,250	4,682,850	15.7	16.3
2 使用料及び手数料	80,800	73,750	7,050	0.0	0.0
3 国庫支出金	1,311,902,273	1,192,356,000	119,546,273	22.8	21.6
4 県支出金	789,506,292	764,464,375	25,041,917	13.7	13.8
5 支払基金交付金	1,590,354,000	1,539,473,965	50,880,035	27.6	27.8
6 財産収入	1,386,224	1,779,396	△393,172	0.0	0.0
7 寄附金	0	0	0	0.0	0.0
8 繰入金	880,182,016	824,133,515	56,048,501	15.3	14.9
9 繰越金	284,257,372	307,482,242	△23,224,870	4.9	5.6
10 諸収入	2,070,914	904,815	1,166,099	0.0	0.0
歳入合計	5,764,786,991	5,531,032,308	233,754,683	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 5,736,840,000 円に対し、支出済額 5,550,326,627 円（前年度 5,246,774,936 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 186,513,373 円（前年度 335,980,064 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 96.7%（前年度 94.0%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 303,551,691 円（5.8%）増加している。

なお、科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 総 務 費	189,319,325	181,126,403	8,192,922	3.4	3.5
2 保 険 給 付 費	5,075,715,976	4,841,851,365	233,864,611	91.4	92.3
3 地 域 支 援 事 業 費	71,091,823	41,750,543	29,341,280	1.3	0.8
4 財 政 安 定 化 基 金 抛 出 金	3,333,333	3,333,333	0	0.1	0.1
5 基 金 積 立 金	183,058,335	153,779,396	29,278,939	3.3	2.9
6 公 債 費	0	0	0	0.0	0.0
7 諸 支 出 金	27,807,835	24,933,896	2,873,939	0.5	0.5
8 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	5,550,326,627	5,246,774,936	303,551,691	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

介護保険事業特別会計の決算収支については、歳入総額 5,764,786,991 円、歳出総額 5,550,326,627 円、歳入歳出差引額は 214,460,364 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 214,460,364 円の黒字決算となっている。

9 介護サービス事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 87,095,000 円、調定額 86,515,127 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 0 円となっている。

収入済額 86,515,127 円(前年度 88,574,657 円)の予算現額に対する収入率は 99.3% (前年度 101.8%)、調定額に対する収入率は 100.0% (前年度 100.0%) となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 サービス収入	80,189,816	78,827,362	1,362,454	92.7	89.0
2 財産収入	253,982	0	253,982	0.3	0.0
3 繰入金	0	0	0	0.0	0.0
4 繰越金	3,482,308	7,043,666	△3,561,358	4.0	8.0
5 諸収入	2,589,021	2,703,629	△114,608	3.0	3.1
歳入合計	86,515,127	88,574,657	△2,059,530	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 87,095,000 円に対し、支出済額 80,510,753 円(前年度 85,092,349 円)、翌年度繰越額 0 円(前年度 0 円)、不用額 6,584,247 円(前年度 1,905,651 円)の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 92.4% (前年度 97.8%) の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 4,581,596 円 (5.4%) 減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 総務費	1,492,029	1,486,800	5,229	1.9	1.7
2 サービス事業費	76,673,742	78,605,549	△1,931,807	95.2	92.4
3 基金積立金	2,344,982	5,000,000	△2,655,018	2.9	5.9
5 公債費	0	0	0	0.0	0.0
6 予備費	0	0	0	0.0	0.0
歳出合計	80,510,753	85,092,349	△4,581,596	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

介護サービス事業特別会計の決算収支については、歳入総額 86,515,127 円、歳出総額は 80,510,753 円で、歳入歳出差引額は 6,004,374 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 6,004,374 円の黒字決算となっている。

10 集落排水事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 200,400,000 円、調定額 193,795,811 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 513,475 円となっている。

収入済額 193,282,336 円（前年度 164,490,733 円）の予算現額に対する収入率は 96.4%（前年度 94.6%）、調定額に対する収入率は 99.7%（前年度 99.6%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	分担金及び負担金	218,600	208,600	10,000	0.1	0.1
2	使用料及び手数料	39,022,997	38,709,690	313,307	20.2	23.5
4	繰 入 金	121,453,632	113,557,910	7,895,722	62.8	69.0
6	諸 収 入	187,107	4,414,533	△4,227,426	0.1	2.7
7	市 債	32,400,000	7,600,000	24,800,000	16.8	4.6
	歳 入 合 計	193,282,336	164,490,733	28,791,603	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 200,400,000 円に対し、支出済額 193,282,336 円（前年度 164,490,733 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 7,117,664 円（前年度 9,390,267 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 96.4%（前年度 94.6%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 28,791,603 円（17.5%）増加している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	農業集落排水施設費	62,563,528	61,860,131	703,397	32.4	37.6
2	漁業集落排水施設費	5,318,307	4,180,984	1,137,323	2.8	2.5
3	公 債 費	125,400,501	98,449,618	26,950,883	64.9	59.9
4	予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
	歳 出 合 計	193,282,336	164,490,733	28,791,603	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

集落排水事業特別会計の決算収支については、歳入総額 193,282,336 円、歳出総額は 193,282,336 円で、歳入歳出差引額は 0 円となっている。

実質収支額は 0 円の決算となっている。

1 1 浄化槽整備推進事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 205,836,000 円、調定額 205,494,762 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 660,892 円となっている。

収入済額 204,833,870 円（前年度 323,647,097 円）の予算現額に対する収入率は 99.5%（前年度 99.6%）、調定額に対する収入率は 99.7%（前年度 99.9%）となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区 分	年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1 分担金及び負担金		0	18,401,200	△18,401,200	0.0	5.7
2 使用料及び手数料		104,391,550	100,014,786	4,376,764	51.0	30.9
3 国庫支出金		0	44,424,000	△44,424,000	0.0	13.7
4 県支出金		0	13,147,000	△13,147,000	0.0	4.1
5 繰入金		98,372,274	87,649,047	10,723,227	48.0	27.1
7 諸収入		2,070,046	3,011,064	△941,018	1.0	0.9
8 市債		0	57,000,000	△57,000,000	0.0	17.6
歳入合計		204,833,870	323,647,097	△118,813,227	100.0	100.0

歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 205,836,000 円に対し、支出済額 204,833,870 円（前年度 323,647,097 円）、翌年度繰越額 0 円（前年度 0 円）、不用額 1,002,130 円（前年度 1,212,903 円）の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 99.5%（前年度 99.6%）の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 118,813,227 円（36.7%）減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構 成 比 (%)	
				20 年度	19 年度
1 浄化槽整備推進事業施設費	149,841,080	275,271,577	△125,430,497	73.2	85.1
2 公 債 費	54,992,790	48,375,520	6,617,270	26.8	14.9
4 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	204,833,870	323,647,097	△118,813,227	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

浄化槽整備推進事業特別会計の決算収支については、歳入総額 204,833,870 円、歳出総額は、204,833,870 円で、歳入歳出差引額は 0 円となっている。

実質収支額は 0 円の決算となっている。

1 2 港湾整備事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 44,554,000 円、調定額 44,191,083 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 0 円となっている。

収入済額 44,191,083 円(前年度 53,602,712 円)の予算現額に対する収入率は 99.2% (前年度 97.1%)、調定額に対する収入率は 100.0% (前年度 100.0%) となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区分 \ 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 使用料及び手数料	30,040,845	35,145,057	△5,104,212	68.0	65.6
2 県 支 出 金	2,130,902	4,233,684	△2,102,782	4.8	7.9
3 財 産 収 入	2,244,580	2,139,162	105,418	5.1	4.0
5 繰 越 金	8,315,341	10,550,323	△2,234,982	18.8	19.7
6 諸 収 入	1,459,415	1,534,486	△75,071	3.3	2.9
歳 入 合 計	44,191,083	53,602,712	△9,411,629	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 44,554,000 円に対し、支出済額 38,490,668 円(前年度 45,287,371 円)、翌年度繰越額 0 円(前年度 0 円)、不用額 6,063,332 円(前年度 9,941,629 円)の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 86.4% (前年度 82.0%) の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 6,796,703 円 (15.0%) 減少している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区分 \ 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
				20 年度	19 年度
1 港 湾 費	38,490,668	45,287,371	△6,796,703	100.0	100.0
3 予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
歳 出 合 計	38,490,668	45,287,371	△6,796,703	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

港湾整備事業特別会計の決算収支については、歳入総額 44,191,083 円、歳出総額は 38,490,668 円で、歳入歳出差引額は 5,700,415 円となっている。

翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるので、実質収支額は 5,700,415 円の黒字決算となっている。

1 3 土地造成事業特別会計

(1) 歳入の状況

歳入決算状況は、予算現額 1,014,417,000 円、調定額 1,014,537,352 円、不納欠損額 0 円、収入未済額 0 円となっている。

収入済額 1,014,537,352 円(前年度 265,534,616 円)の予算現額に対する収入率は 100.0%(前年度 99.8%)、調定額に対する収入率は 100.0%(前年度 100.0%)となっている。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 入

(単位：円)

区分	年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	財 産 収 入	1,014,300,000	—	1,014,300,000	99.9	—
3	繰 入 金	0	265,099,326	△265,099,326	0.0	99.8
5	諸 収 入	237,352	435,290	△197,938	0.0	0.2
	歳 入 合 計	1,014,537,352	265,534,616	749,002,736	100.0	100.0

(2) 歳出の状況

歳出決算状況は、予算現額 1,014,417,000 円に対し、支出済額 753,175,038 円(前年度 265,534,616 円)、翌年度繰越額 0 円(前年度 0 円)、不用額 261,241,962 円(前年度 443,384 円)の決算である。

支出済額は、予算現額に対し 74.2%(前年度 99.8%)の執行率である。

歳出の前年度対比は、歳出合計で 487,640,422 円(183.6%)増加している。

なお、各科目ごとの決算額は次のとおりである。

歳 出

(単位：円)

区分	年度	平成 20 年度	平成 19 年度	増 減	構成比(%)	
					20 年度	19 年度
1	総 務 費	10,432,111	4,992,316	5,439,795	1.4	1.9
2	内陸工業用地等造成事業	742,742,927	260,542,300	482,200,627	98.6	98.1
5	公 債 費	0	0	0	0.0	0.0
10	予 備 費	0	0	0	0.0	0.0
	歳 出 合 計	753,175,038	265,534,616	487,640,422	100.0	100.0

(3) 実質収支に関する調書

土地造成事業特別会計の決算収支については、歳入総額 1,014,537,352 円、歳出額は 753,175,038 円で、歳入歳出差引額は 261,362,314 円となっている。

実質収支額は 261,362,314 円の決算となっている。

第6 市債の状況

(単位：千円)

会 計 \ 区 分	決算年度末 現 在 高	前 年 度 末 現 在 高	増 減
一 般 会 計	27,918,221	29,143,456	△1,225,235
国民健康保険診療所事業 特別会計	267,162	279,642	△12,480
集落排水事業特別会計	1,206,790	1,272,759	△65,969
浄化槽整備推進事業特別 会計	1,176,175	1,207,811	△31,636
合 計	30,568,348	31,903,668	△1,335,320

一般会計の決算年度中起債総額は1,923,600千円で、その内訳は総務債1,521,900千円（臨時財政対策債971,900千円、地域総合整備資金550,000千円）、農林水産業債132,100千円（県営ため池等整備事業債25,400千円、県営中山間地域総合整備事業債24,200千円、県営広域営農西讃団地農道整備事業債13,000千円、県営中山間地域総合農地防災事業債27,000千円、県営一般農道整備事業債37,800千円、県営地域水田農業支援排水対策特別事業債4,700千円）、土木債180,900千円（道路橋りょう改良事業債166,400千円、港湾改修事業債6,900千円、急傾斜地崩壊対策事業債7,600千円）、教育債88,700千円（中学校施設整備事業債）の起債発行となり、市債総額は前年度と比較し、88,900千円減少した。

国民健康保険診療所事業特別会計の決算年度中の起債はなく、決算年度中の償還額が12,480千円であり、債務残高は267,162千円となり、前年度と比較し12,480千円減少した。

集落排水事業特別会計の決算年度中においては、下水道債32,400千円（集落排水事業債）を起債している。これは、高利率で借入れしている事業債について繰上げ償還を行い、低利率の事業債に借換えしたためである。決算年度中の償還額が98,370千円であり、債務残高は1,206,790千円となり、前年度と比較し65,969千円減少した。

浄化槽整備推進事業特別会計の決算年度中の起債はなく、決算年度中の償還額が、31,636千円であり、債務残高は1,176,175千円となり、前年度と比較し31,636千円増加した。

第7 財産の状況

財産に関する調書の審査結果は、次のとおりである。

(1) 公有財産

決算年度末の公有財産の状況は、次表のとおりである。

区 分		決 算 年 度 末 現 在 高	前 年 度 末 現 在 高	差 引 増 減
土 地 (㎡)	行 政 財 産	8,486,389.12	8,528,989.11	△42,599.99
	普 通 財 産	573,076.99	579,544.61	△6,467.62
	合 計	9,059,466.11	9,108,533.72	△49,067.61
建 物 (㎡)	行 政 財 産	350,132.49	349,701.28	431.21
	普 通 財 産	3,678.25	3,903.25	△225.00
	合 計	353,810.74	353,604.53	206.21
動 産	船 舶	1 隻 10.00 総トン	1 隻 10.00 総トン	0
	浮 棧 橋	6 基	6 基	0
無 体 財 産 権		1 件	1 件	0
有 価 証 券 (円)		112,840,000	112,840,000	0
出 資 に よ る 権 利 (円)		763,669,900	743,335,060	20,334,840

① 土地及び建物

決算年度末における土地は、9,059,466.11 ㎡で、前年度末に比べ 49,067.61 ㎡減少している。

土地で増加した主なものは、詫間中学校屋内運動場用地 4,260.77 ㎡、原下工業団地 13,070.56 ㎡の取得が主なものである。

また、減少した主なものは、鳥坂企業用地 63,710.39 ㎡を売却したことが大きな減少した理由である。

建物については、決算年度末現在高は 353,810.74 ㎡である。前年度末に比べ 206.21 ㎡増加している。

② 動 産

動産については、決算年度中の増減はなく、決算年度末における船舶1隻(10.00総トン)、浮棧橋6基である。

③ 無体財産権

無体財産権については、決算年度中の増減はなく、決算年度末現在高は「神農米」商標登録権1件である。

④ 有価証券

有価証券については、決算年度中の増減はなく、決算年度末現在高は、112,840,000円である。

⑤ 出資による権利

出資による権利は、地方公営企業等金融機構出資金4,600,000円が新設されたほか、決算年度中の増減は前年度記載漏れ及び誤り訂正で20,334,840円増額となり、決算年度末現在高は763,669,900円である。

(2) 物 品

重要な物品は57種類・673点で、決算年度中に33点減少している。減少した主なものは、軽自動車、軽トラック等車両20台、コンピュータ機器類13台、校務用関係備品6台である。

(3) 債 権

債権については、前年度末現在高から536,182,378円増加し、決算年度末現在高は700,695,929円である。

これは、住宅新築資金等貸付金769,396円、育英事業貸付金1,560,000円、地域総合整備財団貸付金(ふるさと融資)550,000,000円の増加と、住宅新築資金等貸付金4,438,461円、厚生資金貸付金60,999円、育英事業貸付金3,240,000円、仁尾地域総合整備財団貸付金8,332,000円、災害援護資金貸付金75,558円の減少との差し引きによるものである。

(4) 基金

基金の増減は次のとおりである。

(単位：円)

区 分			前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高	
不 動 産	土地	土地開発 基金	山林	0 m ²	0 m ²	0 m ²
			畑	0 m ²	0 m ²	0 m ²
			宅地	0 m ²	0 m ²	0 m ²
動 産	財 政 調 整 基 金		4,928,398,339	832,244,891	5,760,643,230	
	教 育 施 設 整 備 基 金		352,493,224	2,170,625	354,663,849	
	公 共 施 設 整 備 基 金		148,866,439	110,948,404	259,814,843	
	地 域 福 祉 基 金		1,127,477,219	0	1,127,477,219	
	中山間ふるさと・水と土保全対策基金		34,459,032	189,524	34,648,556	
	高瀬図書館振興基金		6,900,000	0	6,900,000	
	たくまシーマックス管理基金		52,947,058	3,291,444	56,238,502	
	仁尾町特定農山村地域活動支援基金		2,861,457	△2,861,457	0	
	豊中町農業振興対策基金		2,476,078	△2,476,078	0	
	財田町農業振興基金		5,414,609	△5,414,609	0	
	仁尾町漁業振興基金		7,251,456	△4,304,043	2,947,413	
	仁尾町ふる里創生基金		211,013,063	1,263,185	212,276,248	
	豊中町地域づくり推進基金		89,271,625	589,192	89,860,817	
	山本町地域振興基金		75,424,108	21,629,187	97,053,295	
	仁尾町観光振興事業基金		7,709,695	45,991	7,755,686	
	臨海部土地造成地区開発基金		86,296,813	569,558	86,866,371	
	仁尾マリーナ管理基金		27,087,950	3,870,098	30,958,048	
	原下工業団地整備基金		10,073,232	64,399	10,137,631	
	豊中町有線放送設備運用基金		19,634,382	125,525	19,759,907	
	減 債 基 金		375,666,886	2,265,651	377,932,537	
	土 地 開 発 基 金		697,070,269	1,703,510	698,773,779	
	国民健康保険事業財政調整基金		1,104,846,352	△125,951,529	978,894,823	
	国民健康保険財田診療所基金		124,136,210	7,318,040	131,454,250	
	介護保険給付費準備基金		371,883,620	△37,991,776	333,891,844	
	詫間港港湾施設整備管理基金		194,522,977	10,503,356	205,026,333	
	みとよ未来技術基金		10,150,000	△1,058,847	9,091,153	
	介護サービス事業基金		43,000,000	2,344,982	45,344,982	
	特定団体経営機構管理基金		58,200,000	24,321,550	82,521,550	
	ふるさと三豊応援基金		0	1,470,000	1,470,000	
	介護従事者処遇改善臨時特例基金		0	39,672,111	39,672,111	
農 業 振 興 対 策 基 金		0	0	0		
計			10,175,532,093	886,542,884	11,062,074,977	

第8 基金運用状況

土地開発基金運用状況の内訳は、次のとおりである。

1. 基金の状況 A

(単位：円)

前年度末現在高				決算年度中増減額						決算年度末現在高				
基金 総額	土地等		現金	基金増減額			土地等			基金 総額	土地等		現金	
	面積	金額		繰入金		繰出金	取得		譲渡		面積	金額		
				定額 繰入	運用益金		面積	金額	面積					金額
697,070,269	㎡ 0	0	697,070,269	0	1,703,510	690,000,000	㎡ 0	0	㎡ 0	0	8,773,779	㎡ 0	0	8,773,779

2. 債権の状況 B

(単位：円)

前年度末現在高	決算年度中の増減額		決算年度末現在高	備考
	増	減		
0	690,000,000	0	690,000,000	三豊市土地開発公社貸付金

3. 基金総額 (A+B)

(単位：円)

年度当初額	決算年度中増減額		年度末現在高
	増	減	
697,070,269	691,703,510	690,000,000	698,773,779

第9 まとめ

平成20年度一般会計及び特別会計の総決算は、予算現額48,687,176,000円に対して歳入総額45,187,765,650円(収入率92.81%)であり、歳出総額は43,748,283,953円(執行率89.86%)である。歳入歳出差引額の形式的収支は1,439,481,697円の黒字であり、翌年度へ繰り越すべき財源の496,141,000円を引いた実質収支は943,340,697円となっている。

一般会計については、予算現額29,822,568,000円、歳入総額27,223,774,185円(収入率92.29%)であり、歳出総額は26,320,244,997円(執行率88.26%)で、歳入歳出差引額は903,529,188円の黒字である。

次に、特別会計については、予算現額18,864,608,000円、歳入総額17,963,991,465円(収入率95.23%)であり、歳出総額17,428,038,956円(執行率92.38%)で、歳入歳出差引額は535,952,509円の黒字となっている。

また、一般会計の市債の本年度末現在高は27,918,221千円で、前年度末現在高29,143,456千円より1,225,235千円減少している。また、基金(特別会計の基金及び定額基金を含む)の本年度末現在高は11,062,075千円で、前年度末現在高10,175,532千円より886,543千円増加している。

歳入については、地方交付税の地方再生対策費の創設及び地方特例交付金の児童手当特例交付金・地方税等減税補てん臨時交付金により増額となっているが、市税においては、世界不況の強い風は三豊市においても吹き始めており、法人税が前年度より大幅に減少している。

市民生活にも不安が広がり、市内企業にも影響が出ているものと見受けられるとともに地方経済が後退傾向にあることから、現状のままでは増収は望めない。このようなことから、昨年はゆめタウン三豊のオープンや鳥坂・原下工業団地への企業進出が実現したことによる税収や雇用の増が期待されることから、今後一層の取り組み強化を望むものである。また不況の影響か、市税、負担金、使用料等については、昨年と比較しても収入未済額が増加しており、負担の公平性からも更なる徴収率アップを望むものである。

一方歳出は、各種団体の補助金及び交付金、議員の政務調査費については、活動内容及び使途目的を正しく認識し、実績報告書及び証拠書類等の関係書類を整備し、一層の透明性を確保することを期待する。

教育施設の耐震化対策に関しては、平成19年度末「安心安全な学校づくり交付金」及び平成20年度国の第2次補正予算「地域活性化等臨時交付金及び安全安心な学校まちづくり交付金」の財源措置により当初計画より早期に耐震診断・補強計画・補強工事が進んでいる。

また、平成20年度は合併して3年目を迎え、まちづくりの最上位計画である「三豊市新総合計画」が策定され、計画に基づいたまちづくりが実施されることとなり新しい三豊市建設のため、今後の財政需要は益々増加の傾向にあると考えられる。

今後とも行財政改革の推進とともに、まちづくりの基本理念である無駄のない効率的な行政運営に努め、三豊市自らの責任と判断で経営し、将来像を実現するための基本目標にて、将来に向けたまちづくりビジョンを示す中で、三豊市の課題である少子高齢化対策や環境の保全、防犯・防災のまち「三豊市」を実現するべき、多様化する住民のニーズにも対応した「まちづくり」の推進に尽力されることを望むものである。